第１学年国語科学習指導案

１　単元名　のりもののことをしらべよう　ーいろいろなふねー

２　本時のねらい

「いろいろなふね」で学習したことを基に、「救急車」と「消防車」の役目や工夫を説明する文を書くことができる。

３　準備物

【教師】教材文提示用カード、消防車と救急車の写真、ワークシート、ヒントカード

４　展　開

学習活動・内容（時間：分）	教師の働きかけと評価　（評価方法）
１　本時の学習のめあてを知る。　(3)	○　自分の乗り物図鑑を作るために、まず、「消防車」と「救急車」の説明文を作ってみることが学習のめあてであることを知らせる。
「消防車」と「救急車」の役目や工夫を知らせる文を作ってみよう。	
２　消防車の役目や工夫が分かるように消防車の説明の仕方を考え、話し合う。(15) ・「消防車は、火事を消すための車です。」 ・「この車は、ポンプやホースを積んでいます。」 ・「火事がおきると、水や薬で火を消します。」	○　消防車や救急車の見学をしたことを想起させるために、消防車と救急車の写真を掲示する。 ○　乗り物の役目と工夫を説明するための文や言葉を想起させるために、これまで学習した４つの船の説明文を教室に掲示しておく。 ○　消防艇の文章を活用して、どこを書き換えれば、消防車の説明文になるのかを考えさせる。 ○　調べたことを基に他の表現についても考えさせる。 ㊥　消防車の役目と工夫を理解し、消防艇の文を活用して、説明文を作ることができる。　（発言）
３　救急車の役目や工夫が分かるように救急車の説明の仕方を考え、ワークシートに書く。(20) ・「○○は、○○ための○○です。」（事故でけがをした人や、急な病気の人を病院に運ぶための） ・「この車の中には、○○や○○があります。」 ・「この車は、○○や、○○をつんでいます。」 ・「きずの手当てをしたり、○○したりします。」	○　２の活動で学んだことを活用して、今度は救急車の説明文作りに挑戦してみようと投げ掛ける。 ○　救急車の役目については、全員で確認しておく。 ○　文章を考えることに抵抗がある児童には、定型文のヒントカードを提示し、言葉を当てはめれば、文章を完成できるようにする。 ○　できた児童は、救急車の絵を入れ、図鑑の１ページを完成させるようにする。 ㊥　救急車の役目と工夫を理解し、説明文を書くことができる。　（ワークシート）
４　本時の振返りをし、次時の学習について知る。(7) ・作った文章の紹介 ・いろいろな乗り物について本などで調べること	○　数名の児童に、救急車の説明文を前に出て発表させ、他の児童には感想を言わせて、よさを認め合う。 ○　次時は、いろいろな乗り物について本などで調べ、本時の学習を生かして、自分だけの図鑑作りに取り組むことを知らせる。